

静岡大学 グローバル共創科学部(仮称・設置申請中)連続セミナー

グローバル共創科学部が めざすところ(仮称)

第1回「社会における共創の力」

プログラム

講演1 「スポーツで地域をつなぐ」

酒井 政幸 氏 (公益財団法人静岡市まちづくり公社)

講演2 「ネパールの防災支援 ～協働の可能性と課題～」

勝井 裕美 氏 (認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会)

講演3 「レジリエンスな社会に向けて～東北復興支援における協働の取組みから～」

平松 隆志 氏 (株式会社ドコモCS東海静岡支店法人営業部)

令和4年
7.1 **金**
18:00～19:30
(17:30開場)

会場

レイアップ御幸町ビルディング 5-D会議室
静岡市葵区御幸町11-8 (静岡駅北口から徒歩3分)

対象

高校教員・教育関係者のみなさま、高校生のみなさま、
地域のみなさま、本学教職員

申込み

事前のお申込みが必要です。
お申込みは、**6月10日(金)から6月30日(木)まで**です。
定員を超えるお申込みがあったときには、オンライン
参加をお願いする場合がございます。

参加無料・要事前申込

*オンライン参加も可能です。
アーカイブ配信もご紹介します。

下記URLまたはQRコードからお申込みください
(会場参加・オンライン参加とも)

<https://bit.ly/3m3ByhO>



今後の予定

第2回「グローバル共創科学部(仮称)の
教育と研究」

日程は決まり次第お知らせいたします。

第3回「グローバル共創科学部(仮称)の
人材育成」

日程は決まり次第お知らせいたします。

お問い合わせ

静岡大学企画部企画課グローバル共創科学部(仮称)設置準備事務室
global-jimu@adb.shizuoka.ac.jp

注:グローバル共創科学部(仮称)の内容は設置申請中のものであり、変更される場合がございます。

主催

静岡大学

講師紹介

酒井 政幸氏

(公益財団法人静岡市まちづくり公社)

静岡大学法経短期大学法経学科卒業。現在は(公財)静岡市まちづくり公社健康スポーツ課長。プロスポーツ競技開催時の運営等にボランティアとして参加した経験から、スポーツビジネスの実践やまちづくりをめざして、指定管理者制度に基づく施設管理、静岡市版介護予防体操「しぞ〜かでん伝体操」の普及啓発等に取り組んでいる。

勝井 裕美氏

(認定NPO法人
シャプラニール=市民による海外協力の会)

2001年シャプラニール入社。フェアトレード事業等の担当を経て、2010年から現在まで合計6年間、2回のネパール駐在を経験。2022年3月まで現地事務所長。毎年水害が発生するネパールで、2018年から洪水対策支援を実施し、地方行政、現地NPO、住民組織との関係、日本とネパールの関係を問い続けてきた。2022年4月から休職して防災の勉強中。

平松 隆志氏

(株式会社ドコモCS東海静岡支店法人営業部)
※所属は2022年6月時点

2011年12月より4年間、「NTTドコモ東北復興新生支援室」に勤務し、被災地との懸け橋として、必要な支援を「現場思考」で考え、現地の方々と一緒に解決策を模索しながら東北復興の活動に従事する。現在は、静岡県内において公共や地場企業とDXによる地域課題解決の共創に取り組んでいる。

グローバル共創科学部(仮称・設置申請中)の概要

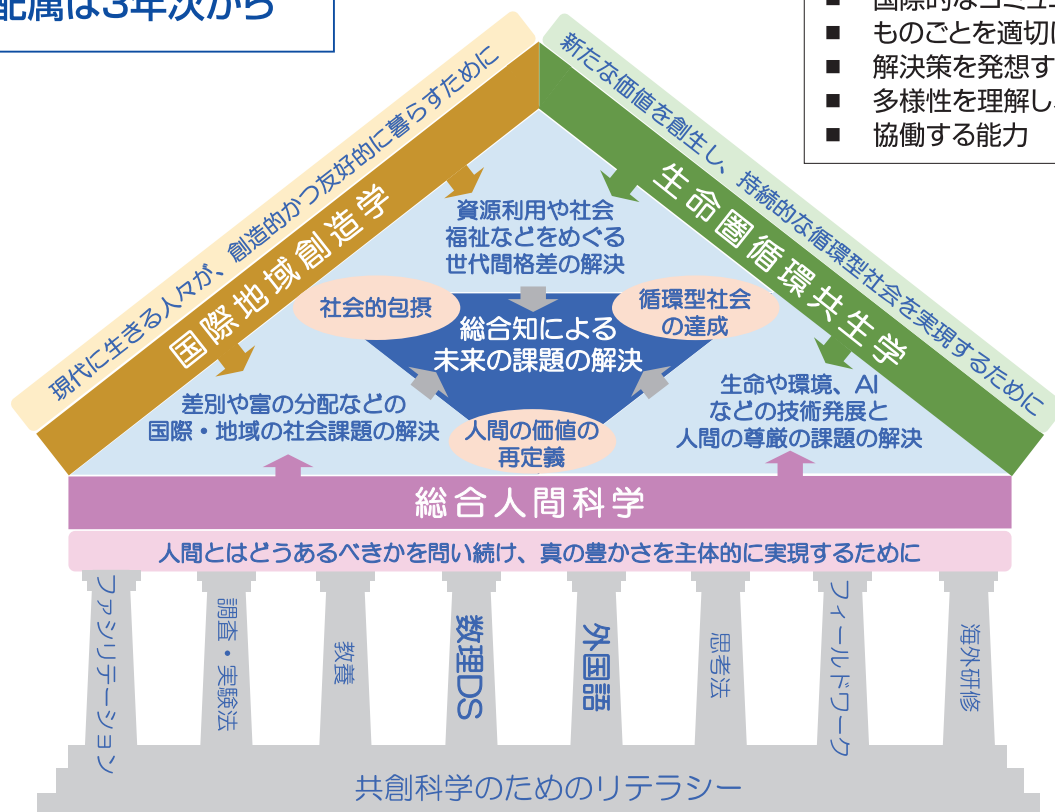
静岡大学は、令和5年4月から「グローバル共創科学部」という文理融合型の新しい学部を開設する準備を進めています。

グローバル共創科学部(仮称)は、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会において、多様な人々と協働し、人文・社会科学から自然科学に至る広汎な知をつなぐことで、複眼的な視点から社会的課題を捉えるとともに、「総合知」を創造・活用しながら、未来社会を構想・デザインできる「共創型人材」を育成することを目的としています。この新学部では、本学が有する6学部の教育成果を融合するとともに、地域創造学環を発展的に取り込みながら、新たな教育をめざします。

グローバル共創科学部(仮称)には、《国際地域創造学コース》《生命圏循環共生学コース》《総合人間科学コース》の3コースを設置する予定です。

1学科3コース制
コース配属は3年次から

- 広汎な基礎的知識
- 専門的知識の社会への活用力
- 国際的なコミュニケーション力
- ものごとを適切に分析する力
- 解決策を発想するための創造力
- 多様性を理解し、尊重する力
- 協働する能力



注:グローバル共創科学部(仮称)の内容は設置申請中のものであり、変更される場合がございます。